

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キラキラルーム川崎小川町教室（児発）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月16日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	令和8年1月16日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 公表しているプログラムと提供させて頂いている支援内容が揃っている。 児童発達支援計画書に沿った支援が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達一人一人に合わせてプログラムを提供している。 常に前向きな声かけをして、チャレンジ、習得、成功体験へ繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムが固定化されないように様々な面からアプローチして意欲的に取り組めるようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が安心感を持って通所している。 子ども達は通所を楽しみにしている。 事業所の支援に満足して頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのその日の様子を見てプログラムを提供している。 楽しみながら習得出来るように、声かけしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動プログラムの更なる充実
3	<ul style="list-style-type: none"> スペースが十分に確保させている。 職員の配置数は適切である。 生活空間は子供に分かりやすく、構造化されている。 障がい特性に応じてバリアフリー化されている。 	<ul style="list-style-type: none"> スペースの有効活用のために、活動内容によって区画を分けて広く活動できるように心がけている 子ども達に綺麗に大切に使う事を声かけしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の特性に合わせた環境設定にする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流 きょうだい同士の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 共働き家庭も多く実施を見送っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討していく
2	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニング 家族も参加できる研修会、情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の面談や、サービス提供記録にてアドバイスや情報提供はしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会は検討していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 他の保育園、幼稚園、地域の子供達との活動 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢交流日を設けており、他の保育園や放課後等デイサービスの利用者と交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢交流日に参加して頂く。

保護者等からの事業所評価の集計結果

（紙4）

公表

事業所名	キラキラルーム川崎小川町教室（児発）
------	--------------------

公表日 令和8年3月2日

利用児童数 11人

回収数 10人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9人			1人	・周りのお友達に注意して遊び、学べる 丁度良いスペースだと感じている ・十分であるスペースをそもそも知らない	・現状のスペースの安全性や基準を丁寧に 説明するとともに、見学や写真等で実 際の様子を共有し、安心していただける よう情報発信を強化する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9人			1人	・十分だと思う。 ・適切な人数を知らない。	・国の基準に基づいた適切な定員・配置 であることを丁寧に説明し、実際の利用 人数や支援体制についても分かりやすく 情報共有する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8人	1人		1人	・特性に応じてかは分からないが、何を するスペースなのか分かり易い。 ・子どもでもわかるようなシンプルな配 置バリアフリー化されていると感じた ・トイレトレーニングを家でも促してい ますが、園と療育で利用体制し声かけな のか、声をあげた子だけトイレに行くの か不明です。	・環境設定の意図や支援内容を引き続き 分かりやすく伝えるとともに、トイレト レーニングについても教室での対応方法 を明確に共有する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10人				・いつ行っても清潔で整理されていま す。 ・清潔感があると思う。	・清潔で整理された環境を今後も維持で きるよう、引き続き衛生管理と環境整備 を徹底する。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	9人	1人		1人	・子どもに寄り添った支援が受けられてい る ・言語聴覚士を配置してほしい。 ・特性に対する正しい支援が何かわから	・個別支援の内容をより分かりやすく共 有するとともに、専門職配置についても 検討し、支援の質向上に努める。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	10人					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	9人			1人		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	7人			4人	・小学校移行支援は引き続き、トランプ 等数字が文字の認識等支援して頂けると 嬉しいです。	・就学に向けた支援内容を継続・強化 し、数字や文字の理解を含めた個別支援 にも取り組んでいく。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9人			1人	・指先、足先まで使ったプログラムを組 んで頂いています。	・現在のプログラムを継続しつつ、発達 段階に応じた運動・感覚統合の活動をさ らに充実させていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	8人	2人			・こどもが楽しく通っている。 ・子どもが飽きずに楽しめるように、ま たスィミングの日には運動を控えるなど 考えられています。 ・プリントの種類や活動の種類は多様で 日々変化をつけて頂いていると思うが、 それが適切なものか不明。	・お子様が楽しめる環境を維持しつつ、 活動内容の意図や目的を分かりやすく共 有し、安心してご利用いただけるよう努 める。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	7人		1人	2人	・保育園のプログラムにも参加できるよ う 支援してもらっている。 ・小学生のお兄さんと遊んでもらってい	・他機関との連携や異年齢交流を継続 し、社会性や適応力の向上につながる支 援を充実させていく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	9人	1人			・入所の際、丁寧に説明してもらいま した	・入所時の丁寧な説明を今後も継続し、 安心してご利用いただけるよう対応して いく。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8人	2人				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	2人	4人	3人	1人	・家族支援プログラムや研修会、情報提 供 の機会があればもっと嬉しいです。 ・まだ参加した事がない ・もう少し家での対応の仕方や何かでき	・家族向けの研修や情報提供の機会を充 実させるとともに、ご家庭での関わり方 について具体的な助言を積極的に行っ ていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	7人	3人			・対面では少ないが、日々の状況はアプ リで共有されている。 ・HUGでは活動内容を連絡して頂いてい ます。とても楽しみにしています。	・日々の情報共有を継続しつつ、対面 でのコミュニケーション機会も増やし、よ り丁寧な連携に努める。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7人	3人	1人	<ul style="list-style-type: none"> ・数か月に1度だが家族の困りごとなど聞いてもらえる。 ・気になる事は直接お話をする場を設けてもらっています。 ・最低限の面談の機会はあるが、積極的に助言支援はあまりない。 	・面談機会を活かしつつ、より積極にご家庭の困りごとへの助言や支援を行える体制を強化していく。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8人		1人	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも何回か相談し、寄り添って頂いていると感じています。 	・これまでの丁寧な対応を継続し、引き続きご家庭に寄り添った支援を行っていく。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1人	2人	4人	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい支援の機会があれば非常に助かります。今後の相談や交流の場を検討して頂けると嬉しいです。 ・保護者の交流があると嬉しい。 ・まだ小さいですが、小学生になったらそういった機会があれば参加したい。 	・きょうだい支援や保護者同士の交流機会の創出に向けて、相談会や交流の場の実施を検討していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8人	2人			<ul style="list-style-type: none"> ・大変迅速に対応して頂いています。感謝しています。 ・面談はすぐく対応頂けて助かっています。 	・迅速かつ丁寧な対応を今後も継続し、安心してご相談いただける体制を維持していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9人	1人			<ul style="list-style-type: none"> ・HUGにより連絡が取りやすい環境にあると感じています。 	・HUGを活用した連絡体制を継続し、より円滑で安心できる情報共有に努める。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10人				<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の通信、活動の様子が分かりやすく拝見しています。 ・発信されている事を今回知りました。 	・日々の活動発信を継続しつつ、情報発信の方法や周知を強化し、より多くの方にご覧いただけるよう努める。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9人	1人			<ul style="list-style-type: none"> ・まれに違う子のプリントや支援計画が入っている事がある。 ・SNSへの顔出しの確認があります。 	・個人情報の取り扱いを徹底し、確認体制を強化するとともに、情報管理と同意確認を引き続き適切に行う。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5人	2人		3人	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりされていると思うが説明はない。 ・園の避難訓練と運動している認識で 	・安全対策や訓練の内容について分かりやすく説明し、実施状況を適切に共有していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7人	2人		1人	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく防災訓練しています。 ・園の避難訓練と運動している認識です。 	・楽しく取り組める防災訓練を継続するとともに、園との連携状況や内容を分かりやすく共有していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8人	1人		1人	<ul style="list-style-type: none"> ・安全はもとより健康や衛生面周知が時々配布プリントでされています。 ・計画の周知はないように思う。 	・健康・衛生に関する情報提供を継続するとともに、各種計画についても分かりやすく周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6人	2人		2人	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで大きな怪我を事業所でした事がないので分かりません。 	・事故発生時の対応体制や報告の流れについて、事前に分かりやすくご説明し安心していただけるよう努める。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10人				<ul style="list-style-type: none"> ・先生達を信頼している様子です。 ・警戒心の強い子ですが楽しく通所しています。 	・お子様が安心して通える環境づくりを継続し、信頼関係の構築を大切にしたい支援を行っていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10人				<ul style="list-style-type: none"> ・お友達との活動が楽しいようで、本人にとって大切な居場所になっています。 ・温かいサポートをありがとうございます ・とても楽しく通っています。 ・毎日持ち帰ったプリントを元楽しく話してくれます。 ・いつもとても楽しみにしています。 	・お子様が安心して楽しく過ごせる環境を維持し、引き続き居場所としての質の向上に努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9人	1人			<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士さんがいるとなお良い。 ・これからもよろしくお願致します。 ・とても満足しています。ありがとうございます。 ・他施設と比較した事もなく、支援の正解が不明。 	・現状の支援の質を維持・向上しつつ、専門職配置の検討や支援内容の見える化を図り、安心してご利用いただけるよう努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キラキラルーム川崎小川町教室（児発）		公表日		令和8年3月2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9人				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9人				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9人				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8人	1人	・クールダウンの場合など、どうしても必要な場合は使用している。	・必要に応じたクールダウンスペースの活用を継続し、安全面に配慮しながら適切な支援を行っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9人				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9人				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9人				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9人				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9人				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9人				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9人				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9人				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9人				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9人				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9人				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9人				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9人				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9人				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9人			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9人			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9人			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7人	2人	・サービス提供記録にて支援の記録を残している。	・サービス提供記録の適切な作成・管理を継続し、支援内容の見える化と質の向上に努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9人			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9人			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9人			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8人	1人	・該当者なし	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8人	1人	・就学時、学校にご挨拶に伺い、情報共有する。	・就学時の学校との連携・情報共有を継続し、円滑な移行支援に努める。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9人			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9人			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9人			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7人	2人	・面談時やサービス提供記録でアドバイスや情報提供を行っている。	・面談や記録を通じた助言・情報提供を継続し、より分かりやすくご家庭に還元できるように努める。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9人			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9人			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9人				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9人				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7人	2人	・共働き家庭も多く見送っているが検討していく	・多様な家庭状況に配慮し、支援体制や受け入れ方法について柔軟に検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9人			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9人			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9人			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9人			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6人	3人	・感染症対策もあり見送っているが、地元の公園での活動時に地域に子ども達と交流している。	・感染症状況に配慮しつつ、地域との交流機会について安全に実施できる方法を検討していく。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9人		
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9人			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9人			
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9人			
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9人			
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9人			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9人			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9人				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9人				